

すくわくプログラム活動報告

社会福祉法人
信和会 キッズハウス浜町公園

幼児クラス（5歳児）

活動人数 8名

活動日 令和6年11月25日～
令和7年1月22日

活動時間 10:00-11:30



テーマ

秋の自然に触れ合う！

<テーマの設定理由>

秋になり木の実や色々な落ち葉が落ちている季節になりました。公園内の葉の色の変化に気付いたり木の実や落ち葉を使って遊ぶ姿に注目をしてみました。

どこで何をする？

<活動スケジュール>

浜町公園

秋の自然に触れごっこ遊びを
楽しむ

何が必要？

<環境デザイン・俊美物・環境設定>

カメラ（記録用）

実践記録

<活動内容>

①秋の自然に触れる

【2024年11月25日】 温度21.3度 湿度37%

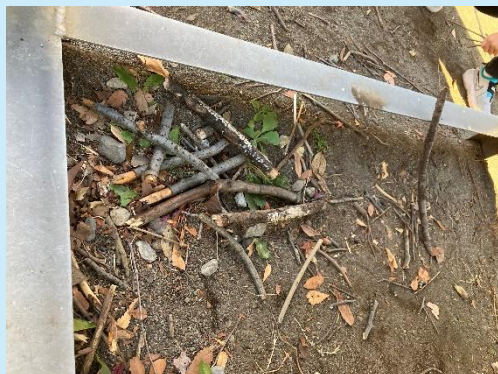


秋が深まってきたため浜町公園へ行き、落ち葉拾いをしました。

「いっぱい落ち葉があるよ」
「見て、黄色い落ち葉があったよ」
「こっちには赤い葉っぱもあったよ」ときれいな色の落ち葉を探し、探索を楽しむ。

黄色い落ち葉を見て
「これはイチョウの葉っぱだよ」「銀杏の木にはオスとメスがあるんだよ」などと詳しく知っている児が中にはいた。

落ち葉を探していく中で
「もみじを探したい」という声があり、公園内を探した。もみじの木を見つけることはできたがまだ葉は緑色で落ち葉はなかったので次の機会にまた探すことにした。



浜町公園へ行くと

「森の方行って落ち葉拾ってきてもいい？」と落ち葉に興味を持つ。
落ち葉や木の棒、石などを集める。

「みんな拾ってきたの集めて」

「いいよ、わかった！」

「じゃあ、あっち探してくるね」と皆で協力し集めていた。

「拾ったやつはここに集めて」

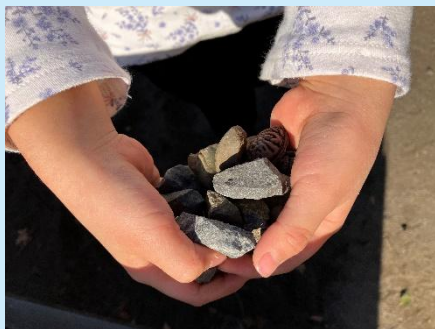
「だれかここ守ってて」など役割分担をしながらごっこあそびを行っていた。

「いっぱい集めてバーベキューしよ」

「それいいね」

「じゃあ、わたし葉っぱ集めてくるね」

「僕は木の棒探す！」と役割を分けながら材料を集める。



バーベキューごっこが始まると

木の棒に落ち葉を刺し葉を肉に見立てたり

木の棒を薪や串に見立てていた。

木の棒に落ち葉を刺し「お肉できたよ」「食べる？」と

保育者や周りの友達に渡していた。

「熱いから気を付けてね。」「焼いたばかりだから」と

本物のバーベキューでの会話のような言葉が出てくる。



木の置き方も徐々に変化し、初めは山積みになっていた

木がバーベキューで薪を置くときの置き方に变化していた。



「石と木を使えば火を起こせるんだよ」と

木や石をすり合わせると火を付けられることを知っている
児がおり、実際に挑戦してた。

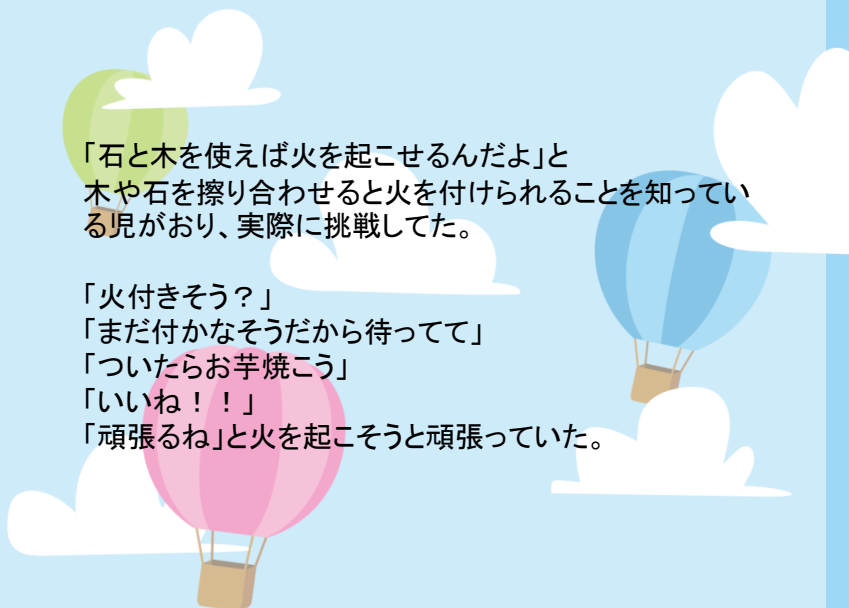
「火付きそう？」

「まだ付かなそうだから待ってて」

「ついたらお芋焼こう」

「いいね！！」

「頑張るね」と火を起こそうと頑張っていた。



【 2025年1月22日 温度22.6度 湿度33% 】



2回目の探索に行った。
前回よりも探そうとする意欲が高まっているように感じる。
「あっち探しに行きたい」
「ここに大きい葉っぱあるよ」と奥の方まで行き、探そうとする姿が見られる。
「花びらもあったよ」
「これも使えるかな」と木や葉っぱ以外も見つけていた。



「これ何の実かな」
「これクコの実だよ！」
「おっきい葉っぱもあった」
「この葉っぱツルツルしてるよ」
「きれいな葉っぱいっぱいあったよ」等
公園内の探索を楽しんでいた。



振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

探索で落ち葉拾いをしたことで落ち葉などの自然物に興味を持ち遊ぶようになった。
遊びの中では実際に経験をしたことがあるような場面を再現し、自分達で役割分担をしながら遊びを進めていくことができていた。
また、気に入った遊びは繰り返し行い、次回は続きから遊べるよう、片付ける場所にも工夫をしていた。

個々に興味を持ったことに関して図鑑や本を通して知識を広めていることを実感した。子ども達が興味を持ったことに関してもっと知識を広められるように図鑑など種類を増やしていきたいと思う。